

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 24-1-21
補助事業名 平成 24 年度 自転車と人にやさしい健康で安全な社会作りを推進する
活動補助事業
補助事業者名 一般財団法人 日本自転車普及協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

自転車を利用することにより、豊かな自然と快適な生活環境を確保し、健康で明るい社会づくりのため自転車利用の環境促進を図り、もって公益の増進に寄与する。

(2) 実施内容

ア. 自転車月間推進事業

平成 24 年度自転車月間推進事業の報告と決算報告の審議及び平成 25 年度自転車月間事業の実施計画と予算等を審議するため、自転車月間総会を開催した。

また、「自転車月間（自転車の日／5 月 5 日）」及び月間趣旨のより一層の普及啓発を図るため、自転車月間「自転車の日」記念行事『サイクルドリームフェスタ 2012』を開催した。



イ. 自転車に関する総合情報提供事業

自転車の情報発信基地である「自転車文化センター情報室(科学技術館内2階I室)」を、平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日まで、科学技術館休館日を除き、毎日運営した。(入場者数 34,646 名)



また、自転車の安全啓発と歴史紹介の映像を下記の7タイトルを制作し、当センタ

一情報室内で上映すると共に、各種出張講習会の教材として活用した。

- ①安全な自転車ライフを！ 交通ルール教室 (5分56秒)
- ②覚えよう！ 整備・点検の合言葉 (6分17秒)
- ③学ぼう！ 海外自転車環境 (6分55秒)
- ④自転車の歴史 自転車・スタイルの完成 (5分18秒)
- ⑤自転車の歴史 レース用自転車 (4分09秒)
- ⑥自転車の歴史 日本の自転車史・明治～戦前 (4分)
- ⑦自転車の歴史 日本の自転車史・戦後～現在 (3分20秒)

ウ. 自転車に関する企画催事

下記の企画催事を開催した。

名 称：「2013 ハンドメイドバイシクル展～自転車で健康になろう～」

期 間：平成24年1月19日(土)～20日(日) (2日間)

場 所：科学技術館1階 1・2・3・4号催物場

内 容：(1)実車・部品の展示

「スポーツ自転車」、「街乗り用(高齢者・障害者用含む)」

「独創的パーツ」(新機構製品化用の試作品・特許申請品)

(2)体験パネル展示「自転車で健康になろう」

※来場者：計1,358人(1/19(土)641人、1/20(日)717人)



エ. 自転車に関する特別展示

自転車文化センター情報室において、当センターの資料を活用して来館者に自転車の奥深い魅力や多様な活用法を紹介するため、以下4テーマの特別展示を行った。

(1)「素材にこだわった自転車」展

平成24年4月14日～6月17日(入場者数4,367名)

- (2) 「ロンドンオリンピックで自転車競技を応援しよう」展
平成 24 年 6 月 23 日～9 月 23 日（入場者数 7,182 名）
- (3) 「自転車が果たしている役割 その始まりの自転車」展
平成 24 年 9 月 29 日～平成 25 年 1 月 6 日（入場者数 9,471 名）
- (4) 「名探偵になれるか？この自転車どこがなぜ違うのか推理してみよう」展
平成 25 年 1 月 12 日～3 月 31 日（入場者数：10,925 名）

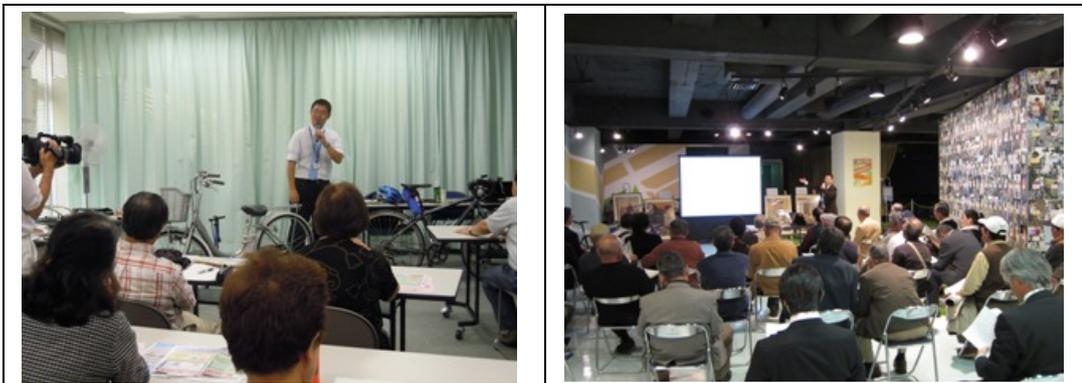


オ. 自転車の安全利用教室

下記の通り、自転車の安全利用教室・講習会を開催した。

- (1) 「日本における自転車の発展と交通安全対策の変遷」
日時：平成 24 年 6 月 11 日（月） 10:35～11:45
場所：自動車会館 2 階 会議室
参加者数：59 名
- (2) 「自転車の安全利用～どうしたら事故を防ぐことができるか～」
日時：平成 24 年 7 月 13 日（金） 13:30～15:00
場所：中野区鷺宮区民活動センター 3 階 洋室 2 号
参加者数：28 名
- (3) 「自転車サマースクール」
日時：平成 24 年 8 月 5 日（日）、7 日（火）、9 日（木）、12 日（日）（10:30～、13:30～）
場所：科学技術館 北ノ丸サイクル
参加者数：195 名（全 8 回計）
- (4) 「私達シニアのためのすばらしい自転車ライフ！」
日時：平成 24 年 8 月 22 日（水） 17:30～19:30
場所：新現役ネット事務局 会議室
参加者数：31 名
- (5) 消費生活教室「自転車に楽しく安全に乗ろう～選び方からメンテナンスまで～」
日時：平成 24 年 9 月 20 日（木） 14:00～16:00
場所：品川区役所第二庁舎
参加者数：13 名

- (6)「自転車ルールとマナーについて」
日時:平成 24 年 11 月 4 日(月) 13:00~13:40
場所:科学技術館 北ノ丸サイクル
参加者数:35 名
- (7)「自転車ライフを楽しむ方法」
日時:平成 24 年 11 月 8 日(金) 13:30~15:30
場所:弥生高齢者福祉センター「やよいの園」2 階 大広間
参加者数:10 名
- (8)「自転車工学園開校!自転車教室」
日時:平成 24 年 12 月 13 日(木)、14 日(金) (11:30~、12:00~、14:30~、15:00~)
場所:東京ビッグサイト
参加者数:約 50 名(全 8 回計)
- (9)「安全で快適な自転車ライフ ~ルールとマナーを知って楽しく乗ろう~」
日時:平成 25 年 1 月 25 日(金) 14:00~16:30
場所:大田区立消費者生活センター 2 階会議室
参加者数:12 名
- (10)「自転車の交通事故と事件事例」「自転車交通事故時の対応と点検整備」
日時:平成 25 年 1 月 28 日(月) 14:40~15:40
場所:アルカディア市ヶ谷 私学会館 3 階「富士の間」
参加者数:89 名
- (11)「自転車のシミュレーターを使った自転車安全講習会」
日時:平成 25 年 2 月 19 日(火) 9:30~12:00、13:30~16:00
場所:東京しごとセンター 4 階 401 教室
参加者数:15 名
- (12)「自転車のシミュレーターを使った自転車安全講習会」
日時:平成 25 年 2 月 27 日(水) 10:00~12:00 13:00~15:00
場所:葛飾区シルバー人材センター 3 階会議室
参加者数:32 名
- (13)「自転車のシミュレーターを使った自転車安全講習会」
日時:平成 25 年 3 月 19 日(火) 9:30~11:30 13:30~16:00
場所:東京しごとセンター 4 階 401 教室
参加者数:32 名



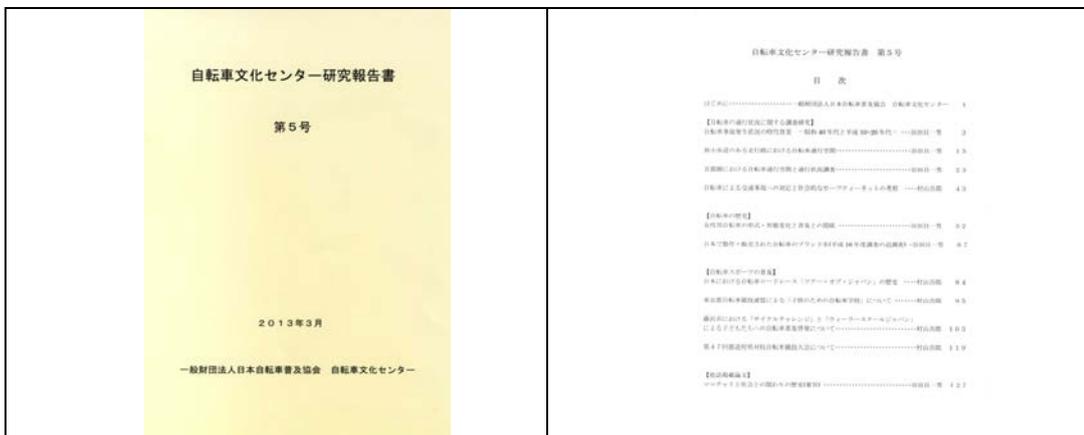
- (14) 自転車の交通安全ルールと正しい乗り方を啓発するため、リーフレットを制作した。
『わかるかな？ みんなで覚えよう 正しい自転車のルール』（小学生用）
『ご存知ですか？ みんなで覚えよう 正しい自転車のルール』（中学生以上対象）



カ. 自転車利用環境研究レポート

自転車文化の継承と普及、ならびに現在・未来における“人と自転車・社会と自転車”との関わりを考える提案のための調査研究として、合計 10 テーマのレポートを作成し、調査研究報告書を全国都道府県立図書館や全国都道府県交通安全協会等に配布すると共に、下記のとおり当センターホームページにおいて公表した。

<http://www.cycle-info.bpaj.or.jp/kenkyureport/kenkyouhoukokusho.html>



シ. バイコロジー地方組織開催

「自転車市民権」や「バイコロジー運動」の推進を図るため、バイコロジーをすすめる会地方組織とともに事業を実施した他、バイコロジー地方組織の統一活動として交通ルールの遵守と自転車乗用マナーの向上を訴えるキャンペーン活動を春・秋の全国交通安全運動期間中および5月の自転車月間にて実施し、バイコロジーの全国的な普及啓発を図った。

また、キャンペーンにおいて配布する啓発チラシ（反射シール付）、自転車市民権宣言署名用紙、のぼり旗を作成し、バイコロジー地方組織に配布した。



ス. シンポジウム開催

バイコロジー地方組織の活性化や地方から全国への発出を図るため、栃木県宇都宮市において「バイコロジーシンポジウム」を開催した。会場内において、自転車市民権宣言署名活動及び自転車環境パネルの展示出展など実施した。



セ. セミナー開催

平成 22、23 年度に引き続き、新しい自転車利用の社会的認知を図るとともに、高付加価値自転車の普及等の啓発活動を実施し「自転車市民権」の確立を目指すため、自転車と環境・健康問題、あるいは都市交通における自転車の役割や走行空間など、様々な問題を一般の方々と共に考える場として、自転車セミナーを計 6 回（通常版 5 回・デラックス版 1 回）開催した。



ソ. バイコロジー指導者養成セミナー

自転車を安心して乗ることができる環境づくりや今後の自転車のあり方を検討し、自転車市民権運動の活発化を図るため、バイコロジー地方組織の地域ごとに講師を招聘し、バイコロジー運動のリーダー育成を目的としたセミナーを3地区において、計3回開催した。



2 予想される事業実施効果

ア. 自転車月間推進事業

自転車月間事業を円滑に推進することにより、自転車月間の趣旨が広く一般に浸透・定着していくことが予想され、「自転車の日」記念事業を通じて、国民における自転車の安全利用意識の向上が期待できる。

イ. 自転車に関する総合情報提供事業

自転車に関するあらゆる情報を提供することにより、自転車文化の形成を促し、交通ルールやマナーなど正しい自転車に関連する知識を身につけ、昨今の自転車ブームを下支えする役割の一翼を担い、自転車産業の振興や人々の暮らしへの貢献に資することが期待できる。

ウ. 自転車に関する企画催事

自転車に対する人気と関心の高まりから、人々の余暇や暮らしの質を高める重要なツールとしても、また高齢化社会に向けて、乗り手の体格や用途・年齢や体力に応じた自転車の需要は今後も高まると思われる。

エ. 自転車に関する特別展示

自転車に関する社会的な関心を高めて頂くことにより、自転車の文化的側面に関する関心が高まることが予想される。

オ. 自転車の安全利用教室

自転車利用者の交通ルール遵守・マナーの向上、自転車事故の減少につながる安全利用の普及啓発効果が期待できる。

カ. 自転車利用環境研究レポート

社会的な課題など関心の高いテーマなどを取り上げることで、マスコミや地方自治体、一般の方からの問い合わせが増え、自転車文化センターの果たすべき役割である自転車文化の継承と普及が期待できる。

キ. バイコロジー地方組織開催

現在の社会状況に合致したバイコロジー運動のあり方、基本的な位置づけ、推進体制等を確認しつつ、中央団体・各地方組織ともその基本に添った具体的実践活動を展開してきたことから、バイコロジー運動のより深い浸透が図られるとともに、今後は国及び地方自治体における自転車乗用環境の整備促進や自転車の健全な普及が進むものと予想される。

ク. シンポジウム開催

「バイコロジーシンポジウム」を開催したことにより、各地域におけるバイコロジー運動の普及推進が進み、地方組織の一層の活性化、拡充が期待できる。

ケ. セミナー開催

講師や参加者のネットワークの構築など、新たな情報発信手段として認知されているため、「自転車市民権」の確立されることが期待できる。

コ. バイコロジー指導者養成セミナー

各地域におけるリーダーの養成により、「自転車市民権」や「バイコロジー運動」の普及推進が進み、地方組織の一層の活性化、拡充が期待できる。

3 本事業により作成した印刷物等

- ・平成24年度自転車月間「自転車の日」記念行事事業報告書 300部
- ・平成24年度自転車月間「自転車の日」記念行事
『サイクルドリームフェスタ2012』来場者案内用チラシ 3,000枚
- ・平成24年度自転車月間「自転車の日」記念行事
『サイクルドリームフェスタ2012』ポスター 100部



報告書



チラシ(表)



チラシ(裏)

実施報告書 (<http://www.bpaj.or.jp/bikemonth/pdf/cdf2012r.pdf>)



ポスター

- ・ 自転車の安全利用教室 啓発リーフレット
 - 「わかるかな？みんなで覚えよう正しい自転車のルール（小学生用）」 5,000部
 - 「ご存知ですか？みんなで覚えよう正しい自転車のルール」 5,000部
- ・ 「平成24年度自転車文化センター研究報告書」 300部
- ・ 自転車安全利用促進キャンペーンパンフレット 110,000部



- ・ 自転車市民権宣言キャンペーンリーフレット（チラシ及び署名用紙） 各 16,000部

- ・ バイコロジーのぼり旗 240枚／ポール 200本



- ・バイコロジーシンポジウム 2012 in「自転車のまち宇都宮」チラシ 2,000 部
- ・バイコロジーシンポジウム 2012 in「自転車のまち宇都宮」報告書 200 部



チラシ(表)



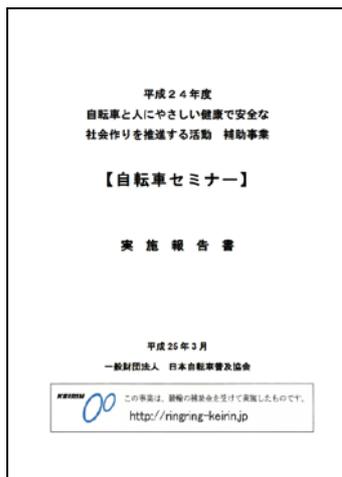
チラシ(裏)



報告書

実施報告書 (http://bikecology.bpaj.or.jp/html/report/pdf/24sym_utsumomiya.pdf)

- ・「平成24年度自転車セミナー」報告書 100 部



報告書 (http://www.bpaj.or.jp/report/H24_seminar-houkokusho.pdf)

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般財団法人 日本自転車普及協会(ニホンジテンシャフキュウキョウカイ)
 住所： 107-0052
 東京都港区赤坂1-9-3
 代表者： 会長 石黒 克巳(イングロ カツミ)
 担当部署： 事務局(ジムキョク)
 担当者名： 事務局長 田中 栄作(タナカ エイサク)
 電話番号： 03-3586-3278
 F A X： 03-3586-9782
 E-mail： jifukyo@jifu.jp
 U R L： <http://www.bpaj.or.jp>